

PAT-NO: JP360162684A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 60162684 A

TITLE: STAMP FOR DAILY BUSINESS USE

PUBN-DATE: August 24, 1985

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

TSURUMI, SUKEO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

TSURUMI SUKEO

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP59018710

APPL-DATE: February 4, 1984

INT-CL (IPC): B41K001/58

US-CL-CURRENT: 101/327, 101/405

ABSTRACT:

PURPOSE: To prevent a stamp surface from being damaged, by a construction wherein an outer cylinder and an inner rod are slid relatively to each other to stretch or contract a spring in the condition in which a transverse shaft and a long groove hole provided respectively in the outer cylinder and the inner rod are engaged with each other.

CONSTITUTION: The transverse shaft 6 with both ends supported by a side wall of the outer cylinder 1 is passed through the long groove holes 2a provided at both side openings of an internal space of the inner rod 2. A tension spring 7 having hook parts at both ends thereof is hooked on the shaft 6 at the upper end thereof and to a transverse pin 9 at the lower end thereof. Starting from a gripped position, a combined cover and ink pad 4 is rotated while holding a head part 3 to disengage a hooked cut 3 and a projection of the pin 9 from each other, whereby it is enabled to stamp directly. Namely, when the head part 3 is held, the lower end of the spring 7' is stretched by the pin 9 of the inner rod 2, since the upper end of the spring 7' is engaged with the transverse

shaft 6 of the outer cylinder 1. In the sliding ranges of the long grooves holes 2a and groove holes 1a, both the inner rod 2 and a stamp member 5 are lowered, and are engaged by the hooked cut 4a in the combined cover and ink pad 4 and the projection of the transverse pin 9. When the engagement is released by rotating, the stamp member 5 is retracted by the recoil strength of the spring 7', naturally resulting in a condition wherein the stamp member 5 is protected.

COPYRIGHT: (C)1985,JPO&Japio

⑬ Int.Cl.<sup>4</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和60年(1985)8月24日

B 41 K 1/58

6951-2C

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

⑮ 発明の名称 実用印章器

⑯ 特 願 昭59-18710

⑰ 出 願 昭59(1984)2月4日

⑱ 発 明 者 鶴 身 祐 雄 西宮市塩瀬町名塩594-47

⑲ 出 願 人 鶴 身 祐 雄 西宮市塩瀬町名塩594-47

## 明 細 書

## 1. 発明の名称

実用印章器

## 2. 特許請求の範囲

- (1) 外筒内を印材の固着された内棒が上下摺動して出没する機構に於て、該外筒及び内棒の相互に設けた横軸と長溝穴が嵌合して摺動し乍らバネを伸縮する構造を特徴とする実用印章器。
- (2) 外筒内を印材の固着された内棒が上下摺動して出没する機構に於て、前記内棒に管材を採用した特許請求の範囲外ノ項記載の実用印章器。
- (3) 外筒内を印材の固着された内棒が上下摺動して出没する機構に於て、該外筒の下口部に接合する蓋兼肉池がその側面の切込鉤と該内棒の横ピンと係止される特許請求の範囲外ノ項記載の実用印章器。

## 3. 発明の詳細な説明

本発明のオノの目的は、証明印鑑として印章

面の損傷を完全に防護することである。

そのオ2の目的は、朱肉の付着と捺印操作が最も簡便にできることである。

そのオ3の目的は、美観硬質耐摩擦等の適性を有する貴石類を更に有効価値ある用に供することである。

そのオ4の目的は、脆性を硝子系材や人造宝石等の鑄造文字印をも実用化することである。

そのオ5の目的は、本器の透明体と広汎な圖案意匠の表現にも利用することである。

そのオ6の目的は、本器の大小各形状品質物と他の機能品と組合せて多様をキヤラクター商品化に使用することである。

そのオ7の目的は、本器の主体を、内径外径が相互に適合する多種類の管材を活用して最も簡易に量産することである。

その構成を述べると、通常携帯使用時の外観がオ1乃至オ4図に示す如く、特に透明高級プラスチックや一般の金属その他適性材料で作リ印材の断面は丸角任意で各形状相応の外筒(1)又

は角外筒(1)と本体(1)で、該本体(1)内と上下摺動する印材(5)と下端に固着した内棒(2)又は角内棒(2)とその頭部(3)、(3)又は角頭部(3)等からそれとれ成り、以後標準品として丸型について述べ、角型等については、これに準ずるものとする。

即ち外筒(1)の側壁に両端と支持される横軸(6)がオ5乃至オ8図の如く、内棒(2)には通常コンパクト化するもの、その内部空間にコイルバネを収納する。前記内部空間の両側口には作られた長溝穴(2a)には横軸(6)が貫通し、前記バネにはオ7、オ8図の圧縮バネ(7)があり、オ5図、オ6図にはその両端に鉤部を有する引張りネ(7)が上は横軸(6)に下は横ピン(9)に引掛けられる。圧縮バネ(7)の場合は下は横軸(6)に、上は該内棒に付加した小横軸(8)に接する。

前記引張り圧縮両バネ方式何れの場合も内棒(2)の下部に固着される横ピン(9)は印材(5)との結合に利用するを可とし、該外筒下部の溝孔(4a)を貫通して蓋兼肉池(4)の両側にある切込鉤(4a)に係止できるようにその両端を突起とせる。

を解いて離脱すれば印材(5)には朱肉(4b)が既に充分付着されている。外筒(1)の下端面は汚染されないのでオ2図、オ3図何れの状態からでもその係直ちに頭部(3)を押えて捺印できる。即ちオ5図では頭部(3)を押えて、引張りバネ(7)は上端と該外筒の横軸(6)に係止させているので下端は該内棒の横ピン(9)により伸張され、長溝穴(2a)と溝孔(4a)で各々の摺動範囲、内棒(2)印材(5)が共に下降して、該蓋兼肉池の切込鉤(4a)と横ピン(9)の突起で係合される。その係合を旋回解脱すれば、該バネの復元でオ6図のように印材(5)が引込み自然にオ3図の如く該印材保護状態になる。

オ7図のように圧縮バネ(7)を使うときは頭部(3)の押えて内棒の小横軸(8)と下オの横軸(6)の間に圧縮されて、前記同様該蓋兼肉池の旋回で係止と解くとオ8図のように該バネの復元でオ3図の捺印姿勢になる。オ4図の角型に於ても機能に特異を具はない。前記各バネ類の強さは細線小径で充分な故輕易なりなので、オ2図の如く指圧で制止できる程度にする。

また外筒(1)はオ4図の如く角外筒(1)の角は印材のみを角型にした丸角外筒(10)の一例オ10図等も考えられるが、この場合は角蓋兼肉池(4)は旋回できないのでその係止には通常オ4図の如く弾力性樹脂材を採用してもよい。

右内棒(2)頭部(3)印材(5)等総て同体の材料を使うときは前記内棒の中に長溝穴(2a)を作り、当該バネを収納取付ければよいが一般に内棒は管材を使うのが便利である。

また簡易な方法としてオ11、オ12図の如く頭部(3)と外筒(1)の間を大横バネ(7)等で付勢し、該外筒の下部溝孔(4a)と横ピン(9)で上下の摺動範囲を限定することも考えられ、更に特別外観を簡素化するにはオ13図の如く頭部(3)内にバネ等を隠蔽させたり外筒(1)の上下端部を段付加工する等して組付け、携行時の体裁を固めることもできる。

その作動機能を述べると、オ1図の折折摺摺姿勢から頭部(3)を押えてオ2図のように蓋兼肉池(4)を旋回して切込鉤(4a)と横ピン(9)突起の係合

以上のように蓋兼肉池を外した状態で該印材は常にオ3図の如く外筒(1)内で保護されているので落下時損傷等の心配はなく、該蓋兼肉池を着脱する毎に朱肉の付着が、印材(5)と外筒(1)の内面間隙を適度保持する限り、他に汚すことなく印材のみに自動的に行はれるので蓋を外して直ちに捺印でき、また印肉を他の肉池から使用するときもオ2図のようにして印材部分を突出させ指圧で保持して行なえばよく、不都合は全くない。

右印材については象牙の使用も考慮される折から本器は、その量産共に使用可能範囲が広大で、旧来からあつた水晶印は勿論各級品種と肉は、青石、宝石等裸石材では欠損破壊を考へて印材に用いるものが復元普及されることになり、貴い印鑑も自己の実用的美術工藝重要物として保有することも有意義と思はれる。

外筒等の本体材質も印材の価値に応じて硬質耐熱高強度の高級透明樹脂から一般金属類その他に至るまで吟味採用を考へ、普及品にしても

市販にある汎用管材から相互に内外径が適合するもの的一对として、大小口径通寸各々2種類を選んて採用すれば、殆んど特殊な工作も要せず容易に当該製品を作り得て最も能率経済と云うべきである。

また印材の破損防護が完全であるこの硝子系、人造宝石等の高耐熱性ニューセラミック等を鋳型による凹字彫刻型から凸字作りができる溶融鑄造による印字製品と実用に供することができる。その他透明な外筒と内棒が往復摺動するのを利用して変化する内装文字画面や興味ある意匠も工夫されると共に美麗な石材印等を外部より視賞し下う使用できる楽しさもあり。

なお、大小形状に応じて小は首飾り、ネクタイピン、筆記具やデジタル時計、ライターその他に組合せたキャラクター商品にも利用され、総て有効な証明印として認められるものができる。

#### 4. 図面の簡単な説明

オ1図は本実用印章装置の所持携帯姿勢を示す

#### 斜視図

オ2図はオ1図の頭部を押し蓋兼肉池と離脱させた状態の斜視図。

オ3図は捺印できる自然の状態を示す斜視図。

オ4図は角型実用印章装置の一例を示す外観斜視図。

オ5図はオ1図AA矢視断面で引張バネ使用の図。

オ6図はオ5図に於て蓋兼肉池を旋回係合解脱の状態を示す。

オ7図はオ5図同様で圧縮バネを使用した図。

オ8図はオ6図同様で圧縮バネを使用した図。

オ9図は本装置を分解して各部分の形状の一例を示す斜視図。

オ10図は角形印材を使用する外筒の一例を示す斜視図。

オ11図は外装バネ使用の一例を示す斜視図。

オ12図はオ11図のBB矢視断面。

オ13図は本装置の外観を簡素にした一例を示す斜視図。

- |            |           |
|------------|-----------|
| 1...外筒     | 1'...角外筒  |
| 1a...溝孔    | 2...内棒    |
| 2...角内棒    | 2a...長溝孔  |
| 3...頭部     | 3'...角頭部  |
| 3'...頭部    | 4...蓋兼肉池  |
| 4'...角蓋兼肉池 | 4a...切込鉤  |
| 4b...朱肉    | 5...印材    |
| 6...横軸     | 7...圧縮バネ  |
| 7'...引張バネ  | 7'...大捲バネ |
| 8...小横軸    | 9...横ピン   |
| 10...丸角外筒  | 11...線鎖材  |

特許出願人 梶身祐雄



